

令和6年度入学者選抜 県立相模原弥栄高等学校音楽科 特色検査（実技）受検上の注意

○全専攻共通

- ・実技検査の検査時間は、5分以内とする。5分経過した時点で検査監督より終了の旨が告げられるので、その時点で演奏を終了すること。5分を超過したことによる評価への影響はない。また、検査監督の判断により、検査時間の都合上、①の課題の演奏を中断し②の課題の演奏に移るよう指示することがある。
- ・演奏曲については、特に指示がない限り原則的にカットを行わず曲頭から演奏する。ただし、伴奏のみの前奏、間奏、後奏などは適宜カットするほか、ピアノ専攻の②の課題では繰り返しを省略する。
- ・「任意の1曲」については、電子オルガン専攻を除き、クラシック系の楽曲とする。ただし、管弦楽曲、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲のパート譜の演奏は不可とする。
- ・出願時に、演奏する楽曲の楽譜及び「特色検査（実技）提出用紙」を本校に提出する。ただし、音階、リズム打ち、ロール、分散和音、コールユーブンゲンを除く。（提出された楽譜は返却しない）
- ・伴奏は行わない。伴奏付の楽曲を伴奏なしで演奏することは可能。
- ・検査当日、受検生の集合時間から実技検査開始時間までにリハーサルを行う時間を確保する。時間と場所については当日指示する。

○ピアノ専攻

- ・ピアノは検査会場の楽器を使用する。グランドピアノ。椅子は背付きのものを使用。

○管弦打楽器専攻

- ・検査で使用する楽器は、各自持参する。ただし、マリンバ、コントラバス、ハープについては、検査会場に用意された楽器を使用してもよい（出願時に「特色検査（実技）提出用紙」に記入すること）。その際、マレット、弓などは持参すること。
- ・持参した楽器の管理は各自で行うこと。
- ・演奏開始前に検査会場のピアノを使用してチューニングを行うことができる。
- ・音階（小太鼓の場合リズム打ちとロール、マリンバの場合音階と分散和音）については、当日、演奏楽譜を提示する。楽譜を見ながら演奏することができる。予見の時間は確保する。

○電子オルガン専攻

- ・電子オルガンは検査会場の楽器（ヤマハ ELS-02C）を使用する。
- ・記憶メディアについては、USB フラッシュメモリーのみ使用可能。
- ・サポート演奏等、演奏情報及びXG音源を使用している楽曲（データ）での受検は不可。
- ・「任意の1曲」については、クラシック系の楽曲に限らない。自作曲、自編曲の楽曲でも可。
- ・レジストレーションの設定は2分以内に行うこと。

○声楽専攻

- ・「任意の1曲」について、演奏開始前に検査会場のピアノを使用して、開始音等を確認することができる。
- ・コールユーブンゲンの演奏課題は当日指定する。演奏用の楽譜は検査会場で提示され、楽譜を見ながら演奏することができる。

受検番号	氏名	在学(出身)中学校
※高等学校で記入	フリガナ	立 中学校

専攻(左の欄に○)		課題	
ピアノ専攻	①	C.チェルニー () 番練習曲 Op. () より () 番	
		クラマー=ビューロー 60の練習曲 より () 番	
		M.モシュコフスキー 15の練習曲 より () 番	
		F.ショパン 練習曲 Op. () より () 番	
	②	W.A.モーツァルト ピアノ・ソナタ () 調 K. () 第 () 楽章	
		L.v.ベートーヴェン ピアノ・ソナタ () 調 Op. () 第 () 楽章	
管弦打楽器専攻 楽器名 []	①	※クラシックギターのみ記入 M.カルカッシ 25の練習曲 Op.60 より () 番	
	②	※全楽器記入(小太鼓は③の内容について記入) 作曲者名	
	③	曲名	
クラリネットは右の欄のいずれかに○をする	実技検査の際(クラリネット) B♭管クラリネット ・ その他 ()		
コントラバス・マリンバ・ハーブは右の欄のいずれかに○をする	実技検査の際(コントラバス・マリンバ・ハーブ) 試験会場の楽器を借りる ・ 楽器を持参する		
電子オルガン専攻	①	J.S.バッハ 「管弦楽組曲第2番」よりポロネーズ	
		J.ブラームス ハンガリア舞曲 第5番	
		J.シュトラウスII ワルツ「春の声」	
		C.A.ドビュッシー 夢	
	②	作曲者名	
		編曲者名	
声楽専攻	②	作曲者名	
		曲名	

(記入上の注意)

- この用紙は出願の際に提出する。記入にあたっては、別紙「特色検査(実技)受検上の注意」をよく読んだ上で行うこと。提出された課題(楽曲)については、変更できない。
- 専攻について、入学を希望する専攻を1つ選び○を記入する。さらに管弦打楽器専攻は[]に楽器名を記入する。
- ピアノ専攻は課題①と②から1つずつ選び○を記入する。また選んだ楽曲欄の()に番号、調など必要な事項を記入する。
- 管弦打楽器専攻は全楽器とも課題②(小太鼓は③)について記入する。(課題曲が指定されている楽器は、選択した番号も必ず記入する。課題が「任意の1曲」となっている楽器は、選んだ楽曲について、できる限り詳細に記入する。)
- クラシックギターは、課題①の()に番号を記入する。
- コントラバス・マリンバ・ハーブは検査の際の楽器の使用について、○をする。
- 電子オルガン専攻は、課題①から1つ選び○を記入する。また課題②で選んだ楽曲について、できる限り詳細に記入する。
- 声楽専攻は、課題②で選んだ楽曲について、できる限り詳細に記入する。
- 演奏する楽曲の楽譜の左上に、下の「楽譜提出用紙」を添付して出願の際に提出する。(ただし、音階、リズム打ち、ロール、分散和音、コールユーブンゲンを除く。提出された楽譜は返却しない)

きりとり

楽譜提出用紙①(ピアノ・クラシックギター・電子オルガン専攻のみ使用)

受検番号	氏名	専攻 [楽器]
※高等学校で記入		専攻 []

きりとり

楽譜提出用紙②③

受検番号	氏名	専攻 [楽器]
※高等学校で記入		専攻 []